

公益財団法人 8020 推進財団

平成 23 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

転倒予防教室

2. 申請者名：

(社) 茅ヶ崎歯科医師会

3. 実施組織：

(社) 茅ヶ崎歯科医師会

4. 事業の概要：

転倒予防教室の目的は概ね 65 歳以上の市内在住の自立している人が、楽しみながら身体機能の維持向上を図ることによって、転倒骨折などで要介護状態になることを予防することとしている。茅ヶ崎市社会福祉協議会が行っている転倒予防教室に歯科医師会会員が出向き、齶蝕や歯周病による歯牙の喪失によって、体幹のバランスの欠如や力のかかり方の変化などにより、転倒が起こる危険性が高くなることを認識してもらう。

さらに転倒予防教室に自ら通うほど健康に留意している方たちなので、摂食・嚥下障害による生活レベルの低下をきたさないように正しい知識を身につけてもらう。

5. 事業の内容：

5 回の転倒予防教室に会員が赴き、歯科に関するクイズを出し、歯科に対する啓もう活動を行った。

転倒予防教室における参加者の反響より、茅ヶ崎市社会福祉協議会から年齢が高く、身体能力も劣るために転倒予防教室に参加できない方を対象に、歯科の講演会をあらためて依頼された。そこで会員が赴き、高齢者ということもあり摂食嚥下障害、誤嚥性肺炎・義歯の取り扱いを中心に講演を行った。

転倒予防教室の参加者を対象に、東名厚木病院の言語聴覚士の黄金井裕氏が摂食嚥下障害に関する講演を行った。

各参加者にはチラシ、ネーム入り歯ブラシ、リーフレットを配布し、さらなる歯科への啓もう活動を行った。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

歯科の健康を語るだけでは市民に対するアピールが低く、聴衆を集めるのが難しいと以前より指摘されてきた。そこで茅ヶ崎市社会福祉協議会が行っている転倒予防教室の合間に時間を取ってもらい、歯科の話をする機会を設けてもらった。市民の方たちだけでなく社協の職員にも好評であり、回数を増やしてもらいたいという要請もあった。しかし、平日に会員が赴くにはいろいろな面で負担が多く、すぐには要請にこたえることは難しいものの、今後行政と折衝し十分な予算をつけてもらうことにより、市民の期待にこたえるように努力する方向である。